



NPO 法人オンザロード 活動報告レポート

寄付金額：73,380 円

平成 30 年 6 月 25 日現在

【ご寄付下さった方々へのメッセージ】

いつも応援ありがとうございます！！

オンザロードでは沢山の人に支えられ、現在、宮城の国内復興支援、そしてインドの国際協力支援を継続しております。皆様からの継続的な寄付は活動の安定につながり、団体の活動の力の源になっております。多大なるお力添えを誠にありがとうございます！

宮城での復興支援、そして引き続き、インドの子どもたちへの教育支援も継続しており、素敵な世界になるよう、今後もこのような社会貢献活動を展開していければと考えています。

【皆様からのご寄付は、以下の活動に使用させて頂きました】

***** 東日本大震災復興支援 宮城県石巻市 *****



●宮城県複合復興施設「ロングビーチハウス」プロジェクト

場所は、宮城県石巻市の渡波地区。津波が押し寄せ、何もなくなってしまった渡波に、今度は人が押し寄せてくる渡波にしたい。そんな想いから、このプロジェクトは始まりました。

石巻の魅力を体験&発信することができる、飲食・宿泊・地域交流の3つが合わさった、地域再生の象徴となるような復興複合型施設「ロングビーチハウス」。たくさんの方々のご協力のもと、2015年3月にオープンすることができました。石巻の食材を使用したスペイン料理レストラン、石巻を訪れる外の人と地元の人を繋げるゲストハウスの営業を行っています。毎月開催している、多種に亘るイベント。直近では今年で3回目となる地元の海苔漁師さんと連携した工場見学とトークイベント、初開催となる街コンを開催して、多くの方々にご参加いただきました。今後も地域に寄り添った活動を行なっていきます。

・来場者数 1,510人(平成30年4月～5月)

<http://longbeachhouse.wix.com/lbh314#!guesthouse/cnwe>

地元の漁師さんと共に船に乗って漁業体験、地域のお祭りへのスペイン料理の屋台出店、DJイベント、スペイン料理レストランにちなみフラメンコイベントの開催、地元ミュージシャンによるライブイベント、地元アーティストによるアート作品展示会、石巻のこれからを考える語り合いの集い。これら以外にも、日々、ロングビーチハウスでは地域復興を目指し多様な活動を行っています。

2018年3月にはオープン3周年を迎えました。4月7日には3周年パーティーを盛大に開催して、日本各地から多くの方にお越しいただき、一緒に楽しみながら、お祝いをしていただきました。4年目もどうぞよろしくお願ひ致します。楽しみを共に生み出しながら、人と繋がっていける機会をここ、ロングビーチハウスから、これからも作っていきたいと思います。

現在もこれから一緒にお店で働きたいという新しいメンバーを募集しています



*****インド 教育支援*****



●インドでの小学校運営

2008年よりインドで無料で通える学校を開校し、各国の現実に応じた学ぶ機会を子どもたちに提供しています。また、お金を寄付するだけのボランティアではなく、日本を含めた世界の旅人たちも授業時間を持ち、子どもたちにそれぞれ得意な事を教える国際交流の場を設けています。

児童数：約50名

授業：月曜日～土曜日

基礎科目：ヒンディー語、英語、算数、理科、社会、図工

特別授業：ボランティアに来ていただいた方が特技を活かし、誰でも先生になるクラスです。ダンスやサッカー、職業紹介、音楽の授業など、児童にとって世界の様々な文化に触れる貴重な時間であり、ボランティアにとっては、自らの特技を用いて子どもたちの見聞を広げる国際貢献が出来る交流の場となっています。

スタッフ：インド人スタッフ5名、日本人スタッフ1名

2018年6月までのボランティア 3,345名





2013年7月にインド「マザーベイビースクール」では政府認可の私立小学校ライセンスを取得し、現在は、私立小学校として運営を開始しています。



近年、経済成長が著しいと言われているインド。数年後には人口が中国を抜き、世界一になるとされています。1950年に廃止されたカースト制度ですが、未だに根強く残り自由な職業選択はまだ出来ないのが現状です。富裕層の経済状況が上昇する一方で、貧困層との格差は広がるばかりです。識字率も世界137位、75.6%（当校のある州は28州全体下位から5位約56%）と政府機関の教育向上計画とは裏腹に伸び悩んでいます。教育を提供する事が義務であるインドでは、多くの学校がありますが、良い教育を受けられるのは富裕層の子どもたちだけです。未だスラム街も多く残り、教育を受けられない子どもたちも沢山居ます。

そんな状況を打破すべく、オンザロードでは2008年に、日本人ボランティア83人が、印度人大工と共に学校を建築。それから今まで、私立小学校となったこれからも一切の学費を無料とし、誰でも通える学校として、初等教育を提供しています。現在は数名の卒業生も送り出し、子どもたちは進学先である中学校でも、それぞれの夢の実現に向けて、日々頑張っています。5月には6名の子どもたちを卒業生として送り出しました。それぞれ同じ公立中学校に進学します。卒業後もマザーベイビースクールに遊びに来てくれると約束をしてくれました。

また、弊団体では2016年7月より東京・下北沢で飲食店「Cafe&Bar Ethical」を運営しています。そこでは、飲食することにより利益の一部がマザーベイビースクールの運営費に充てられるため、気軽に社会貢献ができる場となっています。また、都内の多種に亘るイベントへの出店を通して、より多くの方に向けた弊団体の活動についてのPRや交流活動も行っています。カウンターではスタッフともお気兼ねなく話せる雰囲気があるので、お1人様でもふらっと遊びにお越しくださいませ。現在は新しいメンバーも増えて、賑やかに日々楽しく営業しております。

